

愛川町消防団第二分団 人情火消し

2006年 春号

発行 愛川町消防団第二分団

編集 人情火消し編集委員会



第44回神奈川県消防操法大会
愛川町代表 第二分団

分団長あいさつ

高峰地区の皆様方には、平素から第二分団の消防団活動ならびに災害予防につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、社会情勢変化の中で災害や事故の態様も複雑多様化、大規模化の傾向を強めてきており、昨年は地震や台風による風水害など全国各地で住民の安全を脅かす災害等が発生し、とりわけ国外では米国ルイジアナ州ニューオーリンズ市のハリケーン「カトリナ」による甚大な被害が記憶に新しいところであります。

こうした中、災害等から地域住民の生命、身体および財産を守るといふ消防団の責務と期待は大きくなっていくものと自認しており、これまで以上に地域の情勢を的確に把握し、将来を見据えた消防団組織を展開していく必要があると考えております。

しかしながら、高峰地区にお住まいの方でも地元消防団の活動をご存知でない方も少なくはないと思います。この広報誌はそうした方々にも消防団の事について、少しでもご理解をいただき、現在重要課題となっている団員の確保に結びつく一助となればと思います、昨年から「人情火消し」と題し発行いたしております。

今後とも「安心して暮らせる高峰地区」を目指し、消防団員が力を合わせて日夜怠りなく研鑽に努めて参りますので、高峰地区の消防団である「第二分団」へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

愛川町消防団第二分団

分団長 沼田 豊
副分団長 平本 康

第二分団第一部（三増区）



部長の小島義幸です。私は平成4年4月に入団し、以来、7期14年にわたり、地域防災の一翼を担い、平成16年4月からは「部長」の任をまかされております。時代も移り変わり、ものの見方、考え方の変化などから、消防団をとりまく環境も大きく変わり、現在はいかにして団員を確保していくかが課題であると認識しているところであります。

《団員の小林慶成です》（上三増）

消防団って堅いイメージがありますよね？ 私をはじめ消防団の話を聞いたときとてもびっくりしました。でも、実際入団したらとてもアットホームな雰囲気、先輩方のみなさんがとても親切にしてくれました。そして消防団の行事を通して様々な体験ができて、大変勉強になりました。これから入団してくる後輩達に色々なことを教えられたいなと思います。

《団員の小城篤志です》（新宿）

入団して2年目が終わろうとしています。この間、様々な訓練を通じて消防技術の向上に努めました。消防団で学んだことは、私生活の面でも色々な所で役立っています。これからも消防団活動を通して、様々な人と知り合い良い経験を積み重ねていきたいと思っています。

《団員の中里敬亮です》（下宿）

自分の住んでいる地域でこのような活動をしていることに変な興味があり、入団しました。防災活動を通じて三増区、高峰地区の皆さんと交流を深め地域から火災予防に努めていきたいと思います。

以上3人の紹介をさせていただきましたが、今後とも団員一丸となって消防団活動に励んでいきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



第二分団第二部（小沢区）



愛川町消防団
第二分団第二部

Aikawa Town
Volunteer Fire Corps
II-2

新消防車配属

平成17年11月3日、町消防本部にて3台の「小型動力ポンプ付積載車配属式」が行われ、この内の1台が私たちの部に配属となりました。

この新消防車は旧型と比較して色々な性能が上がりました。特にポンプは格段に性能が上がり、放水までの時間が大幅に短縮され、さらなる迅速な消火活動が可能となりました。



今までの消防車は、平成4年から平成17年までの13年間現場を共にし、消火・防災活動を行ってきました。その中で出来た傷のひとつひとつを見るとさまざまな事が思い出されます...

活動報告

私たちは防災環境を整えるために常日頃から何が出来たのかを考えています。

《防災資機材の整備》

防火水槽や消火栓・ホース格納箱の状態を独自のチェックリストを作成し点検しました。リストに基づき「消火栓等蓋の開閉」「防火水槽の水量」等の確認、また老朽化が進み使用が困難になったホース格納箱を交換し、緊急時に一般の方でもこれらの設備を使い初期消火が出来るよう、常に万全の状態を維持しています。



《火災予防活動》

火災予防運動を、春・秋・歳末の年3回実施しています。

運動期間中には「特別警戒中」の看板を着けて広報活動を行なっています。地域の方々に実際に看板を見て更に防災意識を高めて頂きたいと思ひ私たちが独自で作成しました。



今回は私たち第二分団第二部本年度活動の一部を紹介させていただきました。私たちは「スクラム組んでみんなでがんばる」をキャッチフレーズとし、地域の皆様とともに団結し、消防団活動に励んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

第二分団第三部（箕輪区）

新消防団器具舎完成



1月31日に現在箕輪バス停付近にある旧器具舎の機能移転に伴い、第二分団第三部の新器具舎が箕輪辻交差点から小沢方面にバス停を過ぎた右側に完成しました。

新器具舎では、乾燥塔（ホースを乾かすために使用）の性能が向上し、団員の作業効率の改善に貢献しています。

旧器具舎は昭和45年から36年間、みなさんの地域の防災拠点の一つとして活動していただけてです。

地域の一部として長年あった器具舎が取り壊しとなることで、地域のみなさんや関係者の思いもいろいろあろうかと思っています。

これから新器具舎はみなさんとともに新しい時間を刻んでいきます。器具舎の場所が変わりますが、地域の安全と安心を守るといふ愛消精神は変わりませんので、これからも第二分団第三部をよろしく願っています。

こちらは第二分団三部の広報班です
年末火災特別警戒を実施しています

このような呼び掛けのもと12月25日から31日までの間、消防団車両を用い、夜間巡回警戒を実施しました。

消防団は火災予防週間などを通じて、年三度（春・秋・年末）の巡回をしています。

特に年末の警戒は、各ご家庭において繁忙期を迎え、季節柄暖房器具などを使用する頻度が高くなることから、火災発生の恐れが強まる時期でもあります。

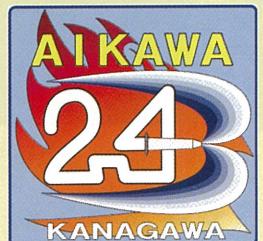
そのため、警戒を強化することにより、火災の未然防止に努め、みなさんの防災についての意識を高揚していただける一助を担えることを私たちはなによりの目的としています。

また、火災警戒に併せて、地区防犯パトロールも兼ねることににより、みなさんが安心して暮らせるよう、サポートもしています。

これから徐々に暖かくなりますが、火の元には十分注意して、地域ぐるみで火災予防に努めていきたいと思います。



第二分団第四部（角田区）



こんにちは。第二分団第四部です。今回は昨年の4月に新たに入団した団員に、消防団の感想等を聞きましたので、この紙面をお借りして掲載させていただきます。新入団員は、消防団に対してどのような印象を持っているのでしょうか？今後入団したい方の参考にもなります。

★小曾根 英樹 団員（峰）

消防団に入ったきっかけは、消防団の活動に興味を持ち始めたときに誘いを受け、思い切ってやってみようと思ったからです。訓練等大変なときもありますが、とてもやりがいがあります。入団してよかった点は、以前よりも責任感や使命感が芽生えるようになり、視野が広がりました。また先輩方を含めた地域の人達との交流ができるようになり、よかったです。

しかし、これからは若い世代の人たちがもっと興味を持って積極的に参加してもらえたらなと思っています。さらに、消防団自体も若い世代に受け入れられるような環境づくりも必要だと考えています。

入団して一年近くがたち、あっといふ間でしたが、まだまだ未熟な面があり、ご迷惑をかけることもあると思います。一生懸命がんばりますのでよろしく願っています。

★小川 直 団員（中の平）

消防団に入ったきっかけは、父が消防団の経験者でもあり、また小さい頃からの夢でもあったため入団を決意しました。その夢が現実となっていることが、とてもうれしいです。憧れの消防車にも乗れたり、団員の上下関係もなく、先輩方がとても親切にしてくれるので、入って良かったと思っています。今は右も左もわからない新人ですが、日々訓練に励み、先輩方の足を引っ張らないようにがんばりたいと思います。最後に地域のみなさん、火の取り扱いには十分注意をしましょう。



★2-4トピックス★

●1月8日に開催された第51回愛川町一周駅伝競争大会に、角田区代表として、小川直団員が出場。アンカーとして最後まで走りぬぎました。

●1月9日に実施されたどんと焼きの警戒を実施。このように地元行事の警戒等に積極的に参加しています。

第二分団の活動

◆ 峰っ子フェスティバル ◆

第二分団では、地域の皆様に消防団をより知ってもらうため、地域行事への積極的参加を行なっています。今回は「峰っ子フェスティバル」に参加しました。

平成17年11月13日(日) 高峰小学校にて峰っ子フェスティバルが開催されました。これは子供たちが、親子のふれあいや地域のみなさんとのふれあいを通じて楽しい一日を過ごし「地域で生きることの喜びを知る」という企画です。第二分団では消防車の展示・ジェットシューター体験・放水体験・ホース展長体験を企画し、子供たちに色々な体験をしてもらい、楽しみながら消防や防災への興味を持ってもらいました。また保護者や地域の方々にも消防団活動に対する理解をより深めてもらいました。

● 第二分団第一部 ●



消防車の展示を担当し、子供たちに防火服やヘルメットを着用してもらい、記念撮影を行ないました。その場で写真を作成し子供たちにプレゼントをしました。

● 第二分団第二部 ●



ジェットシューター体験を担当し、子供たちに火点(標的)をめがけ放水の体験をしてもらいました。ジェットシューターを背負い実際の重さも感じてもらいました。

● 第二分団第三部 ●



放水体験を担当し、子供たちに筒先を持ってもらい、本物のポンプでの放水の威力と迫力を体験してもらいました。

● 第二分団第四部 ●



ホース展長体験を担当し、子供たちにホースを使った展長を体験してもらいました。ホースの感触や展長の難しさを感じてもらいました。

● 第二分団第五部 ●



沢山の子供たちが楽しい一日を過ごしました!!

平成十八年度消防団の主な活動予定

四月	辞令交付式
	ポンプ性能検査
六月	愛川町消防操法大会
	水防訓練(隔年)
七月	神奈川県消防操法大会
九月	防災訓練
十二月	秋の火災予防運動
十二月	歳末火災特別警戒
一月	消防出初式
三月	春の火災予防運動

この他、消防器具・消火栓の定期的な点検活動・各種講習会への参加や県外視察研修等を実施の予定です。また、各自治会等の要請により、各種イベントでの警戒活動等も行なっています。



平成18年 愛川町消防出初式



平成18年 出初式一斉放水

新入団員募集中!

安全・安心な高峰地区を目指して!

第二分団では、現在一緒に活動してくれる団員を募集しています。

「自分たちの地域は自分たちで守る!」という趣旨に賛同いただける方、消防団活動やボランティア活動に少しでも興味のある方は、自薦他薦を問いませんのでお気軽に町消防本部(285331)までお問い合わせください。